

No. 974

# 仮面劇の世界

—ジェームズ・アンソール展—

ベルギーの代表的画家ジェームズ・アンソール展がベルギー文化省・中日新聞・東京新聞の主催で10月10日まで鎌倉近代美術館で開かれています。

ジェームズ・アンソール (1890~1949) の名はやくから日本に紹介されていながら、作品を見る機会はこれまででなかった。ベルギーとの文化交流によって、主要作品 140 点あまりが展示されています。

ゴーギャン、ヴァン・ゴッホ、ロートレックと同世代の人でありながら、どの派にも属することなく、ひたすら孤独な想像力の世界に生きつづけ、人間の仮面をはぎとり、そこに生ある人間を描きつづけました。彼はシュールレアリズムの先駆者と言われています。

当時彼の作品は全く認められず、下劣きわまりない作品とみられ、作品を見ると吐気におそわれるとまで評されていました。私たちのふとみせるみにくさを仮面の中にとらえ込んだ画家。

人の顔に偽善、たくらみ、虚栄、裏切り、猥雑、潰神を見てしまった画家。

再び世紀末を迎えようとしている現代、確実に明るい季節に向ってはいない今、「世紀末」の画家ジェームズ・アンソール展が開かれています。

'72

ミュンヘン

—オリンピック第二報—

連日ミュンヘンで繰りひろげられたスポーツの祭典。

オリンピックはその度に記録をかきかえ、素晴らしい感動のドラマを残してきた。第20回ミュンヘンオリンピック今回もまた、多くの記録と感動を生んだ。棒高跳。メダルを失ったことのないアメリカ。ミーグレンは5 m50に失敗。東ドイツのノルトウィッヒに敗れた。陸上。100m。アメリカのハート・ロビンソンの9秒コンビが準々決勝で遅刻、失格となり、ソ連のボルリフが優勝。

女子走り高跳。西ドイツの16歳の少女マイファルトが世界タイ記録で優勝。史上最年少のメダリストに輝いた。

女子100m バタフライ決勝。日本の青木まゆみはコース。1分3秒3の世界新記録で優勝。待ちに待った日本の金メダル。ベルリン大会での前畑選手以来36年ぶり。

女子体操。ソ連の17歳の少女コルブド。種目別で床運動と平均台で金メダル。平行棒では東ドイツのヤンツ選手に惜しくも敗れ銀。個人総合優勝はのがしたものの、かれない演技で人気を一人占めにした。

男子体操。日本はオリンピック史上初の団体四連勝。個人総合でも加藤沢男がメキシコに次いで二連勝。種目別でも、つり輪・中山、平行棒・加藤、鉄棒・塚原がそれぞれ優勝。日本の強さを見つけた。なかでも鉄棒・塚原の超ウルトラCの演技、ムーンサルトと呼ばれる着地に観衆はおしめない拍手をおくった。

平和のムードに包まれたミュンヘン、そしてオリンピック村。9月5日、パレスチナゲリラが、とらえられた200人あまりのゲリラの釈放を要求してイスラエル選手団の部屋に侵入。2人を射殺し、9人を人質にした。ヘリコプターで逃亡する時、西ドイツ警察と射ち合い、人質は全員死亡するいたましい事件が起きた。

オリンピックスタジアムでは追悼式が行なわれた。追悼の意を表わして半旗がひるがえる。若人の、民族の祭典にもちこまれた民族問題。ブランテージIOC会長は競技の続行を宣言した。

人命よりもオリンピック続行を優先させたといわれても仕方のない事件の收拾。平和は建前でしかない事がはっきりした今、オリンピックの在り方は今後、変わらざるを得ない。